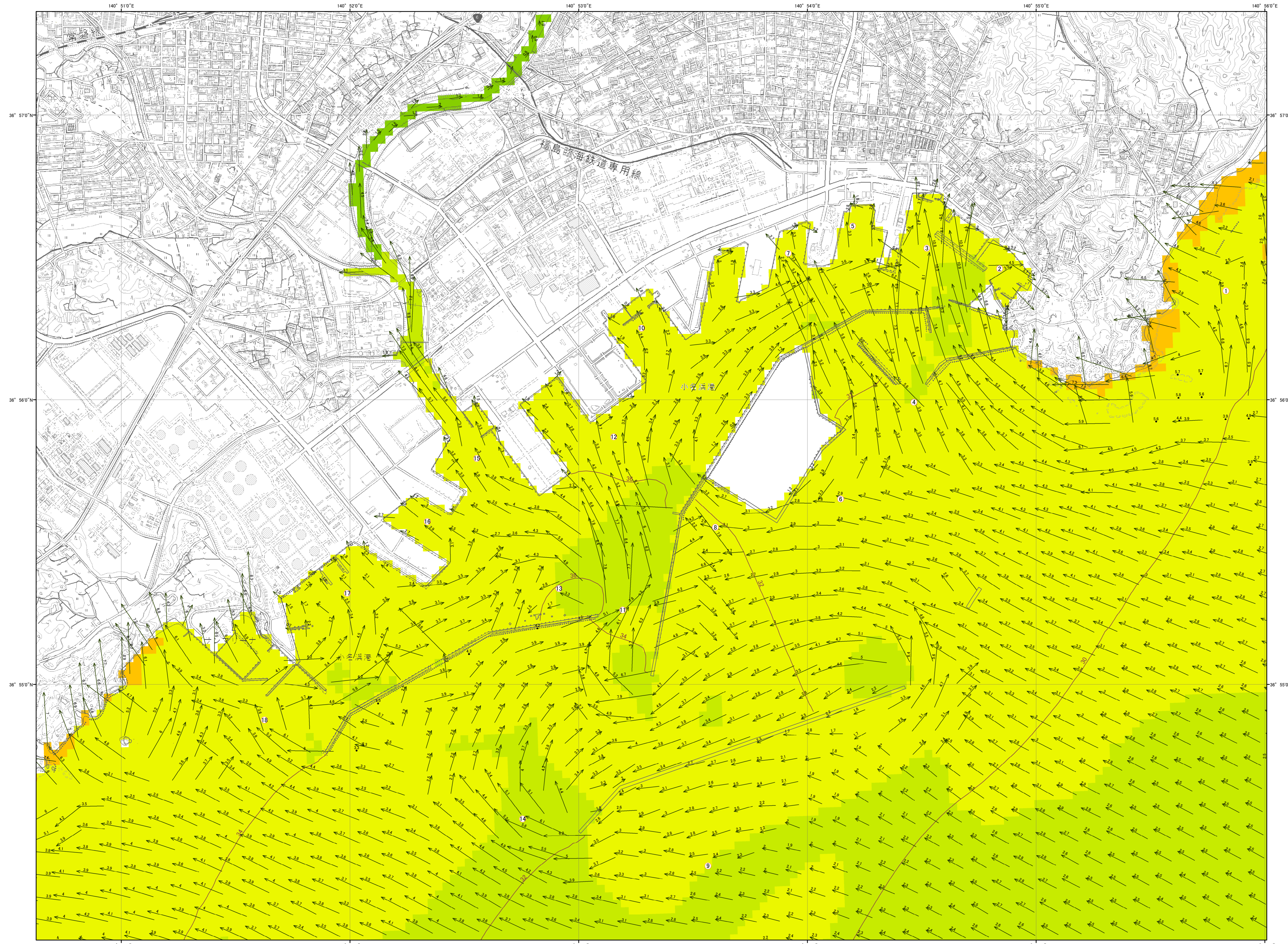


計算条件：最高水面(零位)
隆起量：平均 -0.09m(-0.10m ~ -0.08m)
Z₀：0.84m
備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

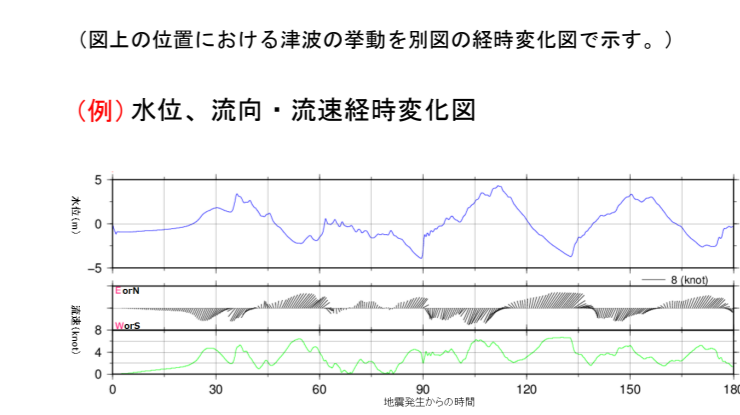


座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)



凡例

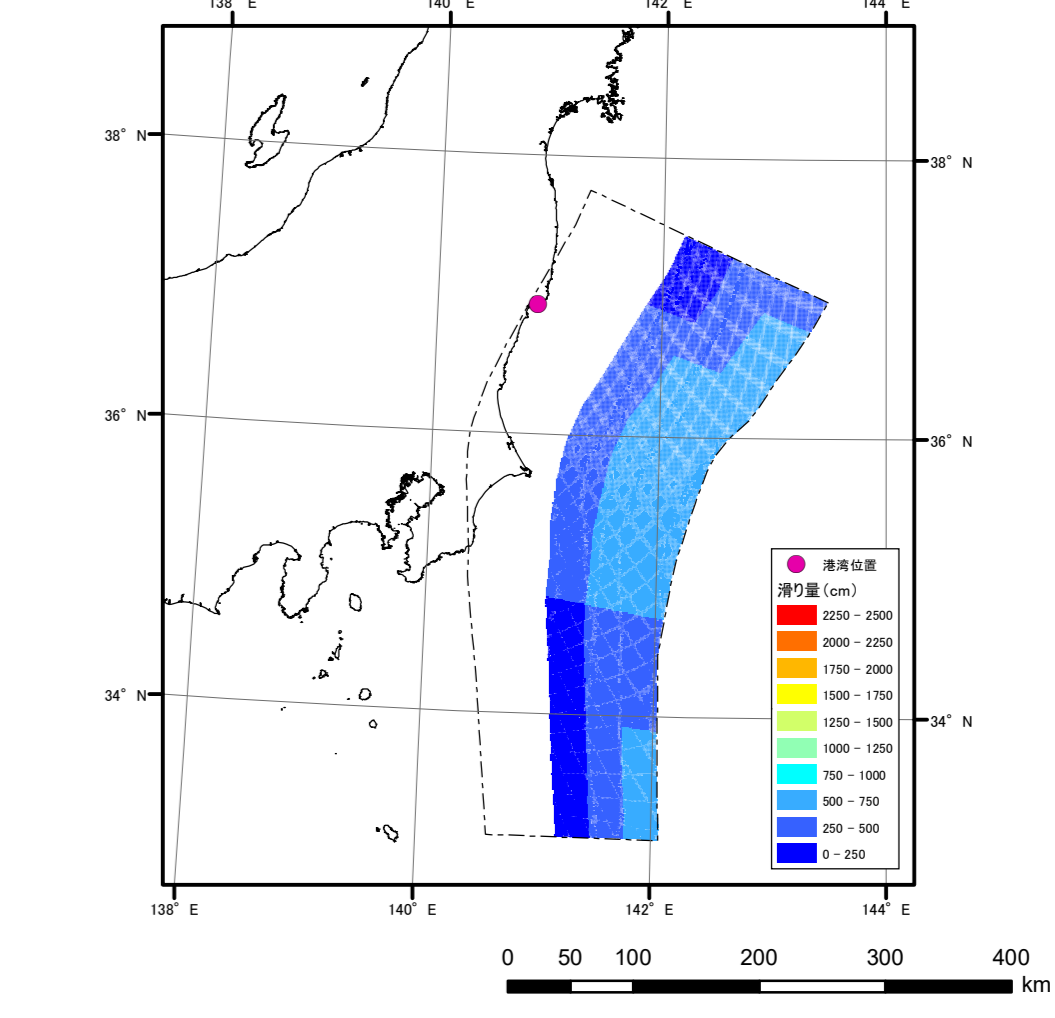
- 最大水位上昇
 - 5~最大7.7m
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
- 経時変化図出力点



- 進入時最大流 (knot)
 - 3 knot
 - 2 knot
 - 1 knot

- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を出している。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

断面モデル



モーメントマグニチュード Mw	8.5
-----------------	-----

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ
・基礎地図情報2mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び数値地図25000(地図画像) (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平28情標、第1374号 平成29年3月10日)

本断面モデルは、内閣府の「首都直下地震モデル検討会」(平成25年12月19日発表)により公表されたものである。

作成機関：海上保安庁
防災情報図作成年月：平成29年7月(初版)
地形データ作成年月：平成29年1月(初版)